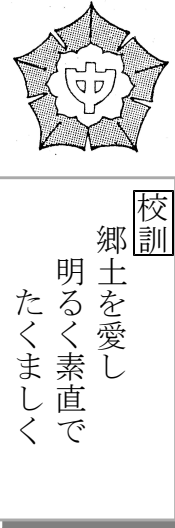


新 潮



校訓

郷土を愛し
明るく素直で
たくましく

文責：校長 川内康範

3学期がスタートしました。

イメージしよう 「4月からの自分」を そして、その準備を

前号では、「峠」という詩を紹介し、「中学生の皆さんはお正月（峠）に何を思い、次の一步をどこに向かって歩き始めるのでしょうか。」と書きました。何か決意ができたでしょうか。

始業式の式辞で私は次のようなことを話しました。「3年生は4月からの高校生活をイメージし、その準備として何をしたらいいのか考えてほしい。2年生はただ1人の最上級生になるが、自分をさらに伸ばすためには何が必要か考えてほしい。1年生は2年生に進級するが、そのためには、1年生の基礎・基本を確実に自分のものにするのが大切である。」2学期は実りの秋で派手で目立つことが多かったかと思いますが、3学期は少し落ち着いて、じっくり取り組み、4月からの準備をしてほしいと思います。

リズムダンス全国大会 堂々の第2位！



大会や東京の話はもう十分に聞かれたことと思います。子どもたちは、急なポジションの変更などにもきちんと対応し、ピタリそろったリズムダンスを満面の笑顔で披露してくれました。審査員の鈴木寛先生（東京大学・慶應義塾大学教授、文部科学大臣補佐官）は大島中の演技の後、次のような感想を言われました。「去年もね、すごく感動して見ていたんですけども、中1・2・3と全員一緒なんですよね。学校一丸となつてすばらしいチームワークだなあとと思う

のと、このチームはね、脚力がすごいね。身体能力が抜群に高い、ジャンプ力とか。すごく日頃運動をしっかりとやっているんだなあ。それに、練習を重ねて、チームが心ひとつに合っているので、ほんとにすばらしいと思います。」大島中のことをよく理解していただいていると感じ、たいへんうれしく思いました。連覇の夢はかないませんでし

たが、昨年と比べても決して見劣りしないダンスでしたので、子どもたちには「胸を張って帰ろう」と言ったところです。大会までの練習は、朝や昼休みの短い時間で、楽しいばかりではなかったと思います。しかし、ダンスを通して子どもたちは自信をつけ、大勢の前でも堂々と表現できる力をも身につけています。また、切符を買い、自動改札を通り、満員電車も経験しました。ホテルのオートロックで閉め出されたりもしましたが、ひとつひとつが貴重な社会勉強になったと思います。

今回も、大島の皆様には温かいご支援・ご寄付をいただきました。本当にありがとうございます。保護者の皆様には、見送りやお迎えもありがとうございました。このあと会計が確定しましたら、また保護者会を開いてご説明をしますので、その際はよろしくお願いします。

